

# Smile 庄内

岡山市立庄内小学校  
学校だより No.25  
令和5年2月7日発行



しょうじき なかよし いっしょうけんめい いのちだいじに

今(さ)ら

今(か)ら

今(な)ら

今の学年も残すところ2ヶ月を切りました。登校する日だけを数えれば30日程度です。

2月の朝会では、子どもたちに、「今さら」のあきらめではなく、「今から」「今なら」の前向きな気持ちで、残された日々をがんばりましょう、という話をしました。

実はこの話に関して私には苦い思い出があります。

今から三十数年前、大学を卒業したばかりの私は、岡山市立京山中学校に赴任しました。教師としての経験は0ですから、先輩の見よう見まねで試行錯誤しながら仕事をしていました。夜遅くまで準備をし、自分なりに一生懸命やっていたつもりです。しかし、失敗続きで、何一つ思う通りにはいきませんでした。何がダメなのか分かず、どうすればうまくいくのかにも考えが及びませんでした。やっと、3学期頃になって、「最初にああしとけばよかった」とか「事前にこう言っとけばよかった」ということが少しずつ分かるようになってきました。時すでに遅しという感じです。そんなある日の放課後、職員室で、「来年はこうしよう」「4月からはああしよう」と一人で考えていました。すると、向かいの席の先生が突然話しかけてきたのです。

「定光先生、今、次の学年では、ああしようとかこうしようとか考えていたでしょう。」

「えっ、わかるんですか？その通りですけど・・・。」

「そりゃあ、顔を見たらわかりますよ。でも、それは、ダメですよ。」

「どういうことですか？」

「今できないことは、来年になってもできません。こうすればよかったと思うことがあるのなら、今日からやるんです。仮にそれが今まで生徒達に言ってきたことと違ってもいいじゃないですか。正しいと思うことをすれば、生徒達には伝わりますよ。」

「今さら、大丈夫でしょうか・・・。」

「今さらではありません。今からやるんです！今ならばこそ、やるんです！」

3学期になると、三十数年前のこの台詞が、思い出されます。

子ども達には、自戒の意味を込めて、「今さら」「今から」「今なら」の話をしました。